



ブラジリアの風

Vento de Brasília



桜のような白いイペー花

～涙の谷を過ぎる時も～

この数ヶ月間は、実に多くの悲しみを経験しなければなりません。日本の皆さまにあつては、度重なる台風によって甚大な被害に見舞われていることを知り、心痛めつつ回復をお祈りしております。あの8年前の大地震と津波を思わせるような光景がニュースを通してブラジルにも伝わって来ました。どうして日本はこれほどまでの自然災害を通らなければならないのか、という思いが湧き上がってきます。地球温暖化の影響で世界の気候が大きく変動していることは確かでしょう。どんなに科学技術が進み、予測可能な事柄が増えても、自然の脅威の前にはただ沈黙を守るしかないこともあるということを改めて痛感しています。

私がお仕えしている教会でも多くの方々と別れがありました。飲酒運転の車と正面衝突して28歳の若さで亡くなった看護婦さん(教会員の従姉妹)、鬱病を患って突然の死を迎えた50歳の兄弟、癌との闘いの末召された兄弟、そのお母様でパーキンソンで闘病の末召された94歳の姉妹…。「なぜ、どうして」と思えるような辛い突然の死もありました。私たちはただ、泣く者のそばに寄り添い、肩を抱き、共に涙を流すことしかできませんでした。ふさわしい慰めの言葉も見つからず、自然と涙があふれる日々が続きました。

「喜んでいられる者たちとともに喜び、泣いていられる者たちとともに泣きなさい」ローマ書12:15。痛みに寄り添い“そこに共にいる”ということがいかに大切かを実感しています。また、痛みの中にも神の家族である教会に連なることの幸いを覚えています。

そして、御言葉の約束はさらに私たちを慰め支えています。「死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも…そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません」ローマ書8:38-39。ひとたび神の愛に捉えられた者は、どんな状況の中でも神の愛から引き離されることはないとの主の約束です。人の力ではなく、

万軍の主の熱心が成し遂げる救いのみわざ。

「勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさい」に背中を押されながら、福音宣教に邁進できるようにお祈りください。皆さまのお祈りとお捧げ物に支えられている身であることを心から感謝しております。 2019.10.26

献金報告と感謝

献金者一覧(2019年7-9月)

愛宕山教会、松戸福音教会、波崎礼拝教会、相馬礼拝福音教会、新船橋礼拝教会、新津福音礼拝教会、浜田良夫、くずは聖書教会、松原聖書教会、蛭池聖書教会、石神井福音教会、総和礼拝教会、播磨礼拝教会、学園前聖書教会、安城中央礼拝教会、町田南礼拝教会、鞭木由行、渡邊賢治、東北宣教区、荒木貴幸(敬称略)

283,990 円 (7-9月合計)

累計 790,502 円

【2019年目標:160万円】